

いきいき弥小っ子

たかがあいさつ、されどあいさつ

弥彦小学校 校長 石黒和仁

「さわやかあいさつ運動」へのご協力ありがとうございます。子どもたちの様子はどうでしょうか。朝、通学路で運動をしてくださった方が、「思ったよりもあいさつが返ってこないものですね。」と残念そうに話された、と担当職員から聞きました。その日その時のたまたまの様子ではなく、残念ながら日常的な様子です。

私も校門等であいさつ運動(指導)をしています。連日、同じ思いです。こちらからあいさつをしても、無反応(≒無視)の子どもが1、2割います。知らない仲でないし、(思いたくないですが)いくら嫌いだとしても義理でできそうなはず。それでもできない何らかの理由や原因があるのでしょうか。心配です。たかがあいさつ、されどあいさつ。何とかしたいものです。

保護者アンケートから③ 全てのご意見等にお答えしていないことをお詫びします。

「友達とのやりとりで困ったり悩んだりすることがあるようです。」「年度当初は友達もできず落ち込みもみられました。」「登校班で下学年に気をかけながらモヤモヤ過ごしているようです。」など

→可能な限り子どもに寄り添い、成長を後押しすべく、一人一人を確実に見とり、対応していくことを職員と確認しています。また、自己もしくは集団で選択、決定していく場を大事にしていくことも確認しました。その過程で、トラブルは避けては通れません。トラブルを起こさないことも大事ですが、トラブルが起きた時にどうするのか、どう解決していくのか。その力を身に付けさせたいと思います。当事者に早急に謝らせて終わるなど、教師(大人)主導の指導ではなく、子どもたちが話し合い、考え、よりよい行動ができるような指導を行っていきます。

なお、最近行った「元気チェック」で、「イライラすることがある」にチェックした子どもと面談すると、親から一方的に怒られる、きょうだい関係のことで親が分かってくれない、と漏らす子どもがいたと報告がありました。ご家庭でも子どもの話しをよく聞いていただけたなら幸いです。

「スクールカウンセラーの先生と話をしたかったが、見つけられなかったと言っていた。気軽に話せる状況をつくっていただきたい。」

→工事のため、相談室を固定できなかったことが原因です。今後、スクールカウンセラー来校日時と場所を、子どもたちに明確に知らせます。保護者で面談を希望する場合は、教頭までご連絡ください。

なお、長田SSW（スクールソーシャルワーカー）は第2、第4月曜日に相談日が変更となりました。会場は村役場別館、もしくは学校です。面談を希望する場合は加藤養護教諭までご連絡ください。

いずれも、保護者と子ども、別々に、一緒にと、多様なかたちで面談できます。

「プールには塩素が入っており、水泳の授業はできたのではないのでしょうか。」

→塩素消毒されたプールの水は、新型コロナウイルスに対して安全であると言われていました。ただし、着替えや指導中の密を避けることができないことやプールから上がったときにマスク着用ができないこと、密を避けた指導では一人あたりの入水時間が確保できないことなどから、今年度は中止としました。

「給食を事前に減らしたのだから絶対に食べなさいと言われたと聞きました。食べ物を残すのは良いとは思いますが、その日の体調などもあるし、子どもが負担に感じるのはいかがでしょうかと思います。」

→おっしゃるとおりです。量が多いと感じたら食べる前に減らしてよい。そして、がんばって食べても無理ならば残してもよい。このことを徹底していきます。

「下校時に流しているアナウンスは、誰にでも聞こえているということで、防犯上はどうなのでしょう。」

→村教育委員会と確認をしました。アナウンスを流し始めたときも同じ指摘がありましたが、より多くの方から見守りをしてもらうことによって、危険よりも安全が増すという判断から放送を行っているとのこと。

「文房具でキャラクター物を持たないというルールがあるはずだが、子どもが持って行きたがる。持ってきている友達がいると言っている。」

→学習に不向きということで、キャラクター付き文房具の学校への持ち込みと使用を禁止しています（ご家庭での購入と使用は自由です）。全校体制で指導を徹底していきます。

（文責：実は雨男の石黒）